

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	7	基準値は満たしているが、活動する中で窮屈さを感じる場面がある為、外で活動する機会を取り入れ、活動スペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	1	1	職員の配置数は適切だが、男女比に差がある。男性職員が少ない為、連携しながら同性介助を行うようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	2	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	9	0	イベントや行事に関してはPDCAサイクルを行うようにした。まだ、他の業務では全員が意識して取り組めていない状況の為、少しずつ他の業務についても今後取り組んでいく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	7	1	保護者からとったアンケート内容(保護者評価表)をまとめ、ミーティング等の際に、伝えているが、評価表として職員へ意識させる事が出来ていない。今後は、まとめた内容を共有し、説明をしていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	4	1	自己評価表は毎年HPにて公表をしています。職員へは伝えていたが、周知徹底がされていない為、保護者評価と共に、今後説明をしていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	7	第三者評価を得る所までの活動が行えていなかった。今後は外部からの評価も視野に入れ、まずは、他部署からの評価等を行い、整備を整えていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	1	0	事業所内での虐待に関する研修の実施。外部研修に数名ずつ参加し、研修後に情報の共有を図っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	7	2	アセスメントシートは活用しているが、障害特性に特化した部分が足りないと感じる為、今後はアセスメントシートの様式を変更していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	2	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	5	0	コロナウイルスの影響で活動が制限されてしまったところもあったが、その中でも出来る活動を企画した。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	5	4	情報共有は必ず行うようにした。支援の内容や役割についても活動する部屋別に個々で打ち合わせをしている。毎日担当する職員が同じではない為、今後は一定の期間同じ年代の児童の把握をする体制にかえながら、支援内容や役割を密に確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	0	1	支援終了後に打ち合わせは勤務時間的に難しい為、翌日の朝、ミーティングを実施し、情報共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1	0	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	1	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8	4	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	2	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	1	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	6	利用開始時に、通っている病院と主治医をアセスメント用紙に記入してもらい、連絡先も把握している。直接、主治医と連絡を取る事は少ないが、保護者を介して連携をしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	6	4	相談支援事業所を通じて、得た情報を共有しているが、細かな所まで聞き取りが出来ていない為、今後はケース担当者も交えて情報共有と相互理解に努めていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	3	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	8	0	支援のスキルや知識に関する研修があった際は、参加している。日程や人数的に難しい場合は、代表者が研修に参加し、後日、他の職員と情報の共有を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	9	コロナウイルスの影響で、児童館への利用は自粛した。また、地域のイベント等も中止になったり、自粛した影響があり、交流の機会は減ってしまった。感染防止対策を徹底し、今後は交流できる方法を検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	2	4	主な会議は代表者が参加している為、現場職員は自立支援協議会の研修があれば参加している。今後も様々な機会に参加出来るように体制を整えていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	8	保護者から相談があった際や面談の中で、自宅でも取り組めることや、放デイで行っている事を伝えて保護者の対応力や
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	5	1	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	5	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	10	コロナウイルスの影響により、保護者が参加出来るような企画を考えていた。感染症対策をしながら行える企画を次年度考えていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	12	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	8	地域住民を招待しての行事が出来ていない。引っ越しをしたことで、今までと環境が変わったので、今後は地域住民との関り方についても検
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	4	4	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	0	今年度、防災訓練や不審者対応など非常時に備えての訓練に力を入れて実施した。今後も様々な非常時に備えて訓練等を継続していき
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	4	0	毎月、虐待チェックリストを実施し、昨年11月にチェックリストからの振り返りを行い、虐待防止への取り組みの意識を高めた。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	2	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	11	0	ヒヤリハット事例集の作成・共有がされていないが、事業所内で防犯カメラから危険な箇所の検証などを